



てんかんセンター巡り 第16回

宇多野病院 関西てんかんセンター

施設概要

- 住 所 〒616-8255 京都市右京区鳴滝音戸山町8
- 電 話・FAX TEL 075-461-5121 FAX 075-464-0027
地域医療連携室(直通) TEL.FAX 075-461-5152
- ホームページ
 - 神経内科(発作科)
http://utanohosp.jp/html/patient/department/department_10.html
 - 小児神経科
http://utanohosp.jp/html/patient/department/department_09.html
 - 交通アクセス <http://utanohosp.jp/access.html>

受診予約のしかた

★ 神経内科(発作科): 木下真幸子医師、松本理器医師(非常勤)

初診の方は、電話にて外来受診を予約してください。受診の際には、現在診療を受けておられる先生の紹介状、検査結果(血液検査、脳波、頭部画像、など)をお持ちいただくと大変参考になります。また、妊娠中・出生時の状況、発育歴なども参考になりますので、できましたら母子手帳などの資料もお持ちください。専用予約枠は通常火曜日の午前中ですが、ご都合に応じて空き状況を確認し、予約日時をおとりいたします。(なお、初診予約が大変混みあっております。来院されない場合は、キャンセルのご連絡をいただきますようお願いいたします。)

再診の方の診察は月、水、金曜が木下医師、木曜が松本医師です。基本的に予約制なので事前連絡をお願いします。通常、診療受付時間:午前8:30~11:30、診察時間:午前9:00~12:00となっておりますが、ご都合に応じて調整いたします。

★ 小児神経科: 白石一浩医師、向田壮一医師、鈴木理恵医師、糸見世子医師

診察は月、火、水、木、金で全て予約制です。地域医療連携室にご一報ください。



JEPICA
Japan Epilepsy Center Association
全国てんかんセンター協議会

施設の特徴

★てんかん患者さんは、原因も、症状も、悩みも、希望も、一人ひとり違います。てんかんと、その原因となる基礎疾患や、合併する症状について病状をきちんと把握し、どのような生活を送りたいのかを伺いながら、総合的な診断と治療を目指しています。

★てんかんの外科治療は、どのくらい効果がありそうか、後遺症の可能性、具体的な検査方法などを相談し、主に京都大学医学部附属病院と連携して行っています。

★てんかん診療や脳波解析を中心とした教育活動を行っています。

患者さんへのメッセージ

★「てんかん」は、一般に子どもの病気と思われるようですが、最近は高齢者での発症が多いことが話題になっています。原因はさまざま、脳腫瘍、頭部外傷、脳血管障害、脳炎・脳症、先天性の素因、認知症、などが代表的ですが、まだ原因がわからない場合も多くあります。意識をなくし、倒れてけいれんする症状が有名ですが、脳のどこが過剰興奮するかによって、感覚症状、視覚症状、聴覚症状、自律神経症状など、他にもさまざまな発作症状があります。

★抗てんかん薬は、新しい薬が次々使えるようになってきたので、てんかんの種類に合わせて調節するとよい効果が得られ、副作用も軽くできると期待されています。しかし、調整には少し時間がかかるので、じっくり行わなければなりません。発作がコントロールされているてんかん患者さんは、ごく普通に生活しておられますが、社会的にもさまざまな注意点があるので、十分説明しながら診療を進めています。薬で十分発作が治まらない難治てんかんの患者さんでは、診断を見直し、外科治療も考えます。

★長時間ビデオ脳波モニター検査は入院で行います。

- より一層てんかんの診断と病状をはっきりさせる
- 脳のどこから発作が出ているか(発作の焦点)を確認して、手術の効果がどのくらいかを評価することが主な目的です。
- ★新しく受診された患者さんの主な受診理由は、
- 意識消失発作があり、てんかん疑いといわれたが、きちんと診断してほしい
- てんかんと診断されているが、注意事項や今後の見通しについて知りたい
- 投薬されているが、発作がなかなかおさまらない
- 運転免許を取得できる条件を知りたい
- 抗てんかん薬服用や、てんかん発作が妊娠出産へ与える影響を知りたい

てんかんについて悩んでおられる方、一度ご相談ください。私たちはてんかん患者さんの生き方を応援しています。(発作科 木下 真幸子)

